



朝礼

スタッフの 今日のひとことコーナー



(介護員 粟田瑞希)

アーデネーションはご存知ですか？
アーデネーションとは、小児がんや先天性の脱毛症、不慮の事故等で髪の毛を失った子供の為に寄付された髪の毛でウィッグを作り無償で提供する活動の事です。

学生の頃、先生が髪の毛を伸ばしていてその理由を聞いた時に、「アーデネーション」という言葉を知りました。私も誰かの役に立てるならとその頃からずっと伸ばし続け2年半くらい経ち、今は背中の真ん中くらいまで伸びました。定期的に散髪に行き綺麗に髪が伸びるように毛先を整えてもらっています。寄付する際にも条件があり、31cm以上長さが必要で、また髪の毛を軽く引っ張っただけでちぎれるような極端にダメージがある髪は使用できないそうです。ウィッグ一つ作るのに30人分の髪の毛が必要になります。

アーデネーションは、簡単に誰でも始められるボランティアとして、この機会に知つていただき、自分の髪の毛を寄付してみよっかなと思って頂けたら嬉しいです。



清華苑だより

はな華

2021年9月15日 第67号

発行：社会福祉法人 三幸福祉 特別養護老人ホーム 清華苑

発行人：総施設長 池田昌弘 編集：SEIKAEN Design Lab
〒674-0051 明石市大久保町大塚 3104番1 TEL 078-934-0800 FAX 078-934-0830 https://seikaen.jp

NO.67



皆さんは湯濯というのを聞いたことはありますか。湯濯というのは、お亡くなりになつた人を棺に入れる前に、ぬる湯を使って体や髪を洗浄することです。また、他にも遺体についたこの世の穢れ、痛みや苦しみを拭き清めるための行為といわれています。私は5月に曾祖母が亡くなり初めて湯濯を体験しました。簡単な湯船の中で洗体し、体にタオルを被せて、着物から普段着ていた服に着替えさせてもらつてしまつた。

普段の服を着ている曾祖母は、本当に眠つてゐるだけのようでした。納棺まで1時間でしたが、あつとう間で涙が止まりませんでした。

そして、家族が交代でお湯をかけていき、顔を拭いながら曾祖母が亡くなつた事を強く実感しました。

96歳という長い、長い人生を終えた曾祖母は、祭りがありました。

(介護員 二星木実)

編集後記



(介護員 戸野祐希)

弓道には「正射必中」という言葉があります。正しく射れば必ず中（あた）る、と書きます。意味で、的でようという気持ちが先行すると形が崩れてしまいます。

介護においても、結果を優先してその場限りで通用するような対応をするのではなく、正しい対応によって良い結果が得られる、といったことがあるのではないかと思います。介護における「正射必中」を模索しながら、仕事に取り組みたいです。



7月より生活相談員をさせて頂き、今回より広報誌の担当となりました田渕です。広報誌「はな華」をお読み頂きありがとうございます。「はな華」を通じて、ご利用者の日々の生活や施設の様子をお伝えし、「家族の方に安心をお届け出来れば」と思っています。

新型コロナウイルスの早い終息を願い、皆様が安心してお過ごし頂けるよう職員一同これからも精一杯頑張りますので、宜しくお願い致します。

(広報編集 田渕桃香)

家族様からプレゼントのお花が届き、とても喜ばれていたD様でした♥

特別養護老人ホーム 清華苑では 毎日たくさんのお花が咲いています!



皆様、いかがお過ごでしようか。
暑い日が毎日続いたかと思えば長雨も続き体に堪え
るような気候ですが、休息と睡眠を充分にとり心穏やか
に過ごして頂けたらと思います。
さて、先日1年半ぶりとなる書道教室を開催しまし
た。

久しぶりなので皆さん覚えていて書いてくださるだ
ろうかと少し心配しましたが、職員の声かけもあり一人
二人と「書いてみようか」と始まりました。初めは「私
へただから」とか「こんなんいいやろか」と、不安
な声がありましたが、その後、あちらこちらから「わ
ー上手」とか「漢字じゃなくて平仮名がいい」という声
が上がり始めました。楽しそうな笑い声もあり、とても
賑やかな雰囲気になりました。

納涼祭も中止となりレクリエーションを開催するこ
とも難しかったため、久しぶりにご利用者と一緒に何か
をすることで私達職員も楽しく嬉しい気持ちになりました
した。

コロナ禍の生活で誰もが不安を抱え、時に憂鬱な気持
ちにもなるでしょう。そんな時はホッと一息ついたり、
誰かと共に過ごすことで気分も晴れることもあります。
このときの時間はまさにそんなひとときで清涼剤の
ようを感じました。

1時間ほどの教室はあっという間に過ぎ去り展示し
て終わりましたが、自分の書いたお習字を見てニコニコ
されたり、恥ずかしそうにされている姿を見るなどはど
んなレクリエーションをしようかなあと考えるのも楽
しくなります。生活中潤いって時に必要ですよね。皆様
もそう思いませんか。

(看護主任 大島さおり)



ご利用者とご家族を繋ぐ架け橋になりたい！



※エピソードに紹介されているご利用者と写真に映られているご利用者は別の方で関係はありません。



※エピソードに紹介されているご利用者と写真に映られているご利用者は別の方で関係はありません。

STAFF VOICE

スタッフボイス

特別養護老人ホーム 清華苑

介護、看護、相談員、調理、事務、それぞれの部署で働くスタッフの生の声をご紹介します。



また、私達が笑顔になり、元気を頂くこともあります。入職したばかりで不安と焦りを感じながら毎日を過ごしていた頃、ホッと肩の荷が下りるような出来事がありました。ある日の夜勤中、N様を臥床する際、突然N様は私の手を握り微笑んできました。特に言葉で会話したわけではありませんが、「大丈夫。大丈夫。」という言葉が私の心中に伝わってきました。認知症を抱えるN様と上手く言葉での会話は難しい中、心と心での会話ができた瞬間だったと思います。

介護現場は日々変化がめまぐるしく、時には対応に困り果ててしまう事も多かったです。その中に飛び交うご利用者の「ありがとうございます」といいう言葉、そして笑顔を、一番近くで見ることができた介護という仕事はとても温かみのあるものです。

これまで本当にたくさんのご利用者と日々の関わりの中で様々な発見や学びがありました。その中で印象に残っていることをご紹介します。これまで本当にたくさんのご利用者と日々の関わりの中で様々な発見や学びがありました。その中で印象に残っていることをご紹介します。私は入職して間もない頃のA様との関わりです。A様はご自身のこだわりが少々強い面があり、また新人の職員に対して少し当たりがきつく、私も初めの頃はよくその方に怒られる事もあって上手く関わることが出来ませんでした。しかし、そこで自分が諦めてしまったらこの先上手くいかないだろうと思い、A様に受け入れてもらえるようにと積極的に自分から��拶をしたり、A様が昔は何をされていたのか等の情報を知ること、先輩職員方がどのような関わり方をしているのかを見て真似したり等、関係性を深めていく様に取り組みました。

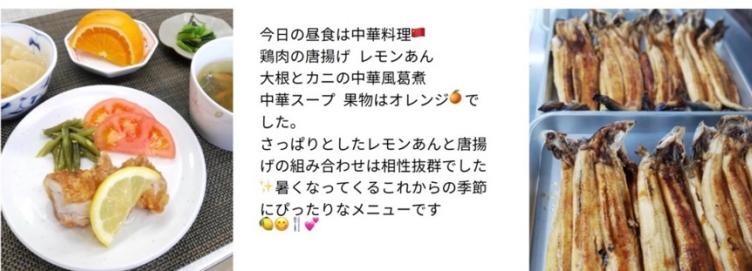
ある日のことでした、普段なら爪切りをしようと黙つても絶対にさせてもらえないかったA様自ら、「爪切り頬むわ」と自分を頬つて下さったのです。その時は、自分のことを認めて頂いたような気持ちになり、本当に嬉しく思いました。この経験から、対応が難しい状況でも諦めずに、積極的にご利用者と関わり、交流を深め、少しでも信頼してもらえるように努力することの大切さを学びました。

現在、新型コロナウイルス流行に伴い、「ご利用者の楽しみである行事などもなかなか行うことが出来ていないのが現状です。その中でも少しでもご利用者が日々楽しくお過ごし頂くことが出来るように自分たちが出来ることを考え、これからもご利用者の為に頑張っていきたいと思います。

(介護員 尾西直人)

清華苑の食事のこだわり

特別養護老人ホーム 清華苑では、昭和62年の開設以来、自家調理にこだわりをお食事をご提供させて頂いております。毎日のお食事だからこそ安心して美味しく召し上がったいたい。いつまでも口から食べる喜びを味わっていただきたい。この思いから当苑では、可能な限り国産品にこだわり、旬の食材・天然だしを使用し、素材を活かした調理を心がけております。献立は、開設当初から作り続けられている定番の人気メニューから、時代の流れとともに生まれた新メニュー、和・洋・中とバラエティに富んだ内容となっております。ご利用者にとって、お食事の時間を何よりも楽しみにしていただけるよう、栄養部一同協力し、頑張っております。



FOLLOW ME
Instagram@seikaen_kitchen

インスタグラムのアカウント@seikaen_kitchenで日々のお食事や食材の紹介など発信しています。ぜひフォロー&いいね！お願いします！

今日は皆さんお待ちかね♪
月1回のカレーの日でした😊||♥
今回は定番ビーフカレー❤
国産牛肉とたっぷりの野菜を煮込んだコクのあるまろやかなカレーです。お口直しのデザートは、ひんやり美味しい冷凍みかん🍊半解凍くらいで食べるのが❤

今日は、土用丑の日ですね😊
清華苑の夕食は...国産うなぎで!!
ひつまぶし風でした😊||♥
毎日暑いですが、しっかり食べて夏バテ予防しましょう👉

スナフキンの流儀

きっと多くの方が一度は目にしたことがあるキャラクターの「ムーミン」。たまたまムーミンについて話を聞く機会があり、興味がわいたので少し調べてみました。ムーミンは

フィンランドのトーベ・ヤンソンさんの作品で、今も世界中の人々から愛され続いている物語です。さらに昨年は「ムーミン75周年」でした。そしてムーミンには様々なキャラクターが登場しますが、今回はムーミンではなくスナフキンにスポットを当てたいと思いま

す。スナフキンは誰にも縛られず自分の思うように生きているところが魅力だと言われています。例えば、「ムーミン」に出てくるキャラクターカーの多くは寒くなると冬眠するのですが、スナフキンだけはその間、一人で南の方へ旅に出で、春になると戻ってきます。

そんなスナフキンは作品の中でたくさんの胸に響く言葉を残してくれています。特に自分との向き合い方、他者との向き合い方に付いて語る内容は今の時代にも当てはまるような気がします。せっかくなのでいくつか紹介したいと思います。

「大切なのは、自分のしたいことを自分で知つてることだよ。」「本当の勇気とは自分の弱い心に打ち勝つことだよ。包み隠さず本当のことを正々堂々と言える者こそ本当の勇気のある強い者なんだ。」「人と違った考えを持つことは向にかまわないさ。でもその考えを無理やり他の人に押し付けてはいけないなあ。その人にはその人の考え方があるからね。」「つまらん意地を張つて、優しい仲間を失つことは美しい宝石をなくすよりも悲しいことだよ。」



SNSなどが日常生活に大きな影響を及ぼしている現代では、スナフキンのように人の目を気にせず自分の思うように生きていくことはなかなか難しいかもしれません。人からどう見えているのかを気にしてしまいがちなこんな時代だからこそ、1つ1つの言葉がみようかなと思います。皆さんはどう感じられたでしょうか。

(総務部長 田村智之)

